

# おはだ

青い鳥はどこにもいない

アトピー性皮膚炎の治療をめくって医療現場に混乱が生じて久しくなっています。「ステロイドを使うからアトピーが悪くなる」といった根拠のない報道がマスメディアで流され、アトピーがいつしか「難病」にされてしまったことが、混乱の根幹にあると思われれます。

アトピーを魔法のように治す奇跡の治療法「青い鳥」はどこにいるのでしょうか。

今回は、真生会のホームページでのやり取りを紹介します。

名古屋のSと申します。ヤフーの掲示板に、真生会富山病院で、アトピーが完治したとの投稿がありました。内容は…、『特殊な医療器具の治療、飲み薬、軟膏で、数ヶ月で完治しました』と、書かれています。

私の息子はアトピー性皮膚炎で苦しんでおります。現在、漢方薬で治療しています。

富山病院での治療法は、どのようなものですか？

また、ステロイドは使用されるのですか？

メール読ませて頂きました。息子さんのご病気のことで、大変なことと察いたします。

当院皮膚科では、日本皮膚科学会の「アトピー性皮膚炎治療ガイドライン」に沿って治療しております。

近年、マスコミでステロイド外用剤についてさまざまな報道がなされ、患者様は混乱に陥っています。多くの企業がアトピービジネス（アトピー性皮膚炎を対象とした、医療保険診療外の営利活動）に乗りだし、社会問題にもなっています。

アトピービジネスを経営している企業の戦略は、「アトピーは難病」との印象を植え付け、ステロイド外用剤の副作用を誇張して、患者様を病院から遠ざけ、商品を買ってもらおう、というものです。

アトピー性皮膚炎は「ありふれた病気」であり、九十九、九パーセントの人が自然治癒する疾患であります。標準的な治療をしっかりやって頂けばよろしいかと思えます。

アトピー性皮膚炎を魔法のように治す奇跡の治療法（青い鳥）は、どこにもないと考えております。

当院では補助療法として、紫外線療法や近赤外線療法をしていますが、中心はステロイドの外用療法です。ステロイド外用剤についてですが、私は善でも悪でもないと考えていま

す。「自動車事故が怖いから車には乗らない」というのではなく、交通规则を守って事故を起こさないようにしようというのが普通です。

交通にルールがあるように、ステロイド外用剤の使い方にもルールがあります。それを守って、快適な日常生活を送るのが得策ではないかと思えます。現在、全国の皮膚科医師の九十五パーセントがステロイド肯定派です。

アトピー性皮膚炎の治療の目的は、「日常生活に支障のない程度に皮膚炎をコントロールすること」です。アトピーの為に勉強ができなかった、部活動ができなかった、やりたいことができなかったということのないようにするのが目的です。

「ステロイドをやめる」ということを目的にしているのは、本質を見失ってしまいます。

いろいろ書きましたが、ご期待に添えなかつたかもしれませぬ。ご意見お聞かせください。（花川博義）

真生会富山病院のホームページアドレス <http://www.shinseikai.or.jp/>